

キウイフルーツ特報 No.2

H30.5.11

J A 中野市園芸課
JA 中野市キウイフルーツ研究会

各品目、生育は昨年より1週間～10日早い状況です。キウイフルーツの生育も昨年より7日程早く進んでいます。開花予想：南部5/26頃 北部5/28頃

開花期の防除は花腐細菌病、かいよう病対策として重要な防除になりますので、遅れないように散布してください。また、高品質生産に向け、人工授粉は適期に実施しましょう。

病害虫防除

隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないよう注意して下さい

防除の際、隣接地がアスパラガスの場合は事前に園主へ連絡して下さい

①開花直前（5月中下旬：5/15～25）の散布

散布薬剤	水	100ℓ当り	散布日	5月	日
	展着剤	10ml	散布量	ℓ	
	アグレプト水和剤	100g（90日前、4回）			
	【劇】スプラサイド水和剤	66g（60日前、3回）			
対象病害虫	花腐細菌病、かいよう病、クワシロカイガラムシ				
散布量	10a当り350ℓ *若木の場合、樹体にしっかり散布できる量を散布する				
注意事項	① アグレプト水和剤に代えて、アグリマイシン-1000の1000倍（落花期まで、3回）でもよい。 ② スプラサイド水和剤は劇物登録剤です。 購入の際には、印鑑をお持ちください。				

②今後の管理について

*摘 蕾・・・新梢の基部や先端部の花蕾が小さいもの、果梗が枝分かれした側花、形が極端に変形している花を摘む。

*人工授粉・・・綿棒または授粉器を使用して行う。（午前中に実施する）

●人工授粉用の花粉交配機「コロンプス（手動タイプ）」は営農センターにて取り扱っております。

*予備摘果・・・落花後10～15日頃より始め、変形果、小玉果を除く。

葉6～7枚に1果を目安として摘果しましょう。

*6月～7月末で果実の大きさが決まります。土壤の乾燥や摘果の遅れ等に注意。